

第94回大腸癌研究会 遺伝性大腸癌委員会 報告

2021年1月21日(木)・22日(金)、浜松町コンベンションホール

委員長: 富田尚裕

① FAP1次研究の論文作成未完了分について

“Morphological analysis of carcinomas in Japanese patients with familial adenomatous polyposis” 現在、投稿に向けての最終準備中。

② 臨床研究(FAP, Lynch)

* 2件とも2018年12月に大腸癌研究会IRB承認後、各施設でのIRB承認→症例登録。

* 2020年10月末日でひとまず登録終了とした。(登録状況の一覧は別紙)

- ・ 『家族性大腸腺腫症(FAP)に関する後方視的多施設共同二次研究』

FAP-WG担当: がん感染症センター 都立駒込病院 外科、山口達郎

最終IRB承認施設数: 16施設、最終登録症例数: 600例

- ・ 『後方視的観察研究による日本人リンチ症候群の大腸病変に対する消化器内視鏡研究』

LS-WG担当: 国立病院機構 岩国医療センター 外科、田中屋宏爾

最終IRB承認施設数: 17施設、最終登録症例数: 312例

③ 遺伝性大腸癌診療ガイドラインの改訂について

委員長: 富田尚裕、編集責任者・総論: 石田秀行、各論責任者: 隈元謙介・山口達郎・田中屋宏爾など
ガイドライン作成委員会委員22名。

- ・ “遺伝性大腸癌診療ガイドライン2020年版”を金原出版より2020年7月10日に刊行。

- ・ その後、上記の英語論文文化に着手。ガイドライン作成委員会委員20名+他5名、計25名。

“Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) Guidelines 2020 for the Clinical Practice of Hereditary Colorectal Cancer”をInt. J. Clin. Oncol.(IJCO)に2020年12月24日に投稿、Reviseを経て、2021年1月11日にAccept. 近日、Open Accessとして刊行予定。



2つの臨床研究 (FAP, Lynch)の最終IRB承認・担当者・データ登録状況の一覧

施設名	FAP	代表者	データ受領	Lynch	代表者	データ受領	検査数
大腸癌研究会(大腸癌研究会IRBでの審査承認)	2018/12/21	富田尚裕		2018/12/28	富田尚裕		
兵庫医科大学	2019/8/29	松原孝明	25	2019/8/29	松原孝明		
埼玉医科大学総合医療センター	2019/11/7	石田秀行	149	2019/11/7	石田秀行	20	71
がん研究会有明病院	2019/9/10	千野晶子	79	2019/9/10	千野晶子	88	596
久留米大学	2019/11/25	主藤朝也		2019/11/25	主藤朝也		
川崎医科大学	2019/11/15	永坂岳司		2019/11/20	永坂岳司		
国立病院機構大阪医療センター	2019/12/4	加藤健志	1	2019/12/4	加藤健志		
大阪国際がんセンター	2019/5/17	竹内洋司	125	2019/4/3	竹内洋司		
東京大学大学院医学系研究科	2019/11/20	石原聡一郎	45	2020/1/22	石原聡一郎	6	9
愛知県がんセンター	2020/1/9	小森康司		2019/12/26	小森康司	6	22
国立研究開発法人国立がん研究センター				2019/11/27	山田真善	46	288
防衛医科大学校	2019/10/2	上野秀樹	16				
安佐市民病院				2019/4/2	三口真司	5	15
東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器化学療法外科	2019/8/27	石川敏昭	5	2019/9/24	石川敏昭	1	3
国立病院機構岩国医療センター	2019/9/5	田中屋宏爾	13	2019/3/7	田中屋宏爾	32	186
順天堂大学消化器外科学講座、下部消化管外科学	2020/4/9	坂本一博		2020/4/9	坂本一博		
産業医科大学、第一外科	2019/10/29	平田敬治	16	2020/1/21	平田敬治	4	41
自治医大附属さいたま医療センター、一般・消化器外科	2019/8/21	宮倉安幸	14	2109/11/8	宮倉安幸	3	14
がん感染症センター・東京都立駒込病院	2020/4/30	山口達郎	77	2019/9/26	小泉浩一	48	260
埼玉県立がんセンター	2019/9/19	赤木究	32	2019/10/16	赤木究	53	234
杏林大学	2020/1/27	須並英二	3				
市立豊中病院	2020/10/6	能浦真吾		2020/7/28	能浦真吾		
総計			600			312	1739

FAP:16施設、600例

Lynch:17施設、312例

【今後の検討課題】

- 1、データ解析・論文作成の担当・スケジュールは？
- 2、主論文以外に追加解析での副論文のテーマは？
- 2、論文のauthorshipは？

『後方視的観察研究による日本人リンチ症候群の大腸病変に対する消化器内視鏡研究』

論文化タイトルの案 (LS-WG担当: 田中屋宏爾先生)

- 1、臨床病理学的特徴
(表面型病変、小さな浸潤癌、interval CRC)
- 2、大腸癌術後 異時性多発大腸癌 累積発症リスク
(外科切除範囲の影響)
- 3、未発症者 腺腫/癌 累積発生リスク
- 4、遺伝子バリエーション別 腺腫/癌 累積発生リスク
- 5、色素・特殊光観察の有用性
- 6、年代別の差 (頻度, 形態の差)
- 7、発生部位による比較 (直腸病変・左右結腸病変)
- 8、サーベイランス中の大腸外関連腫瘍の発生状況
- 9、その他？